

2013年3月期 第2四半期決算説明会

2012年11月16日

本日の内容

1. 2013/3月期 第2四半期連結決算の概要

代表取締役専務取締役 山下 隆

2. 2013/3月期 通期業績予想および今後の見通し

代表取締役社長 堺 美保

2013/3月期 第2四半期連結決算の概要

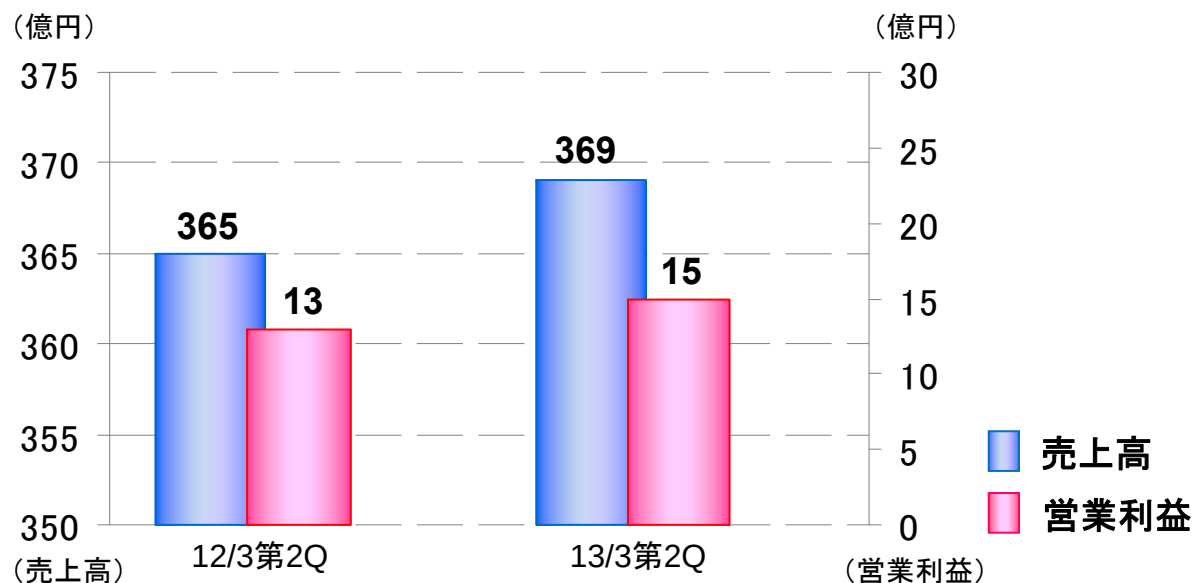
代表取締役専務取締役 山下 隆

2013/3月期 第2四半期 決算ハイライト(連結)



単位: 億円

	2012/3月期 第2四半期		2013/3月期 第2四半期		前年同期比較	
	実績	対売上比	実績	対売上比	増減額	前年比
売上高	365	—	369	—	+3	101.0%
粗利益	101	27.7%	110	29.9%	+9	109.1%
販管費	87	23.8%	94	25.6%	+7	108.5%
営業利益	13	3.8%	15	4.3%	+1	112.6%
経常利益	14	4.1%	15	4.3%	+0	105.7%
純利益	7	2.2%	8	2.3%	+0	107.6%



セグメント売上高(連結)

単位: 億円

セグメント	部門	2012/3月期 第2四半期	構成比	2013/3月期 第2四半期	構成比	増減額	前年比
国内食品事業		247	67.0%	271	72.8%	+24	109.8%
	家庭用食品	64	17.6%	80	21.7%	+15	124.4%
	業務用食品	89	24.2%	95	25.7%	+6	107.4%
	加工食品用原料等	93	25.2%	94	25.4%	+1	101.9%
国内化成品その他事業		28	7.7%	28	7.7%	△0	100.0%
海外事業		93	25.3%	72	19.5%	△20	77.8%
合計		369	100.0%	372	100.0%	+3	101.0%
調整額(消去)		△3		△3		+0	
連結		365		369		3	101.0%

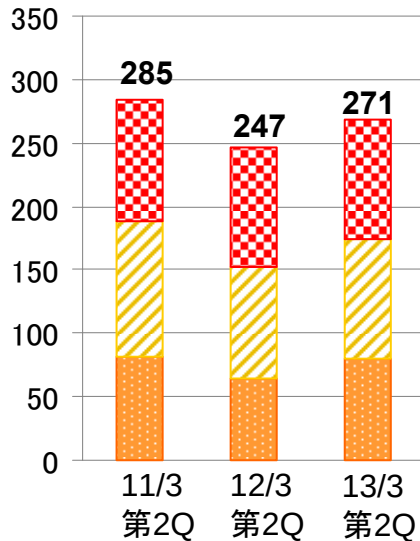
※構成比は調整前の数値

セグメント別売上高 主な増減要因①

国内食品事業【前年差+24 / 前年比109.8%】

単位: 億円

(億円)



家庭用食品

【前期差+15 / 前期比124.4%】

- ◆海藻 +6.2 ◇震災からの「復旧・復興計画」の進捗に伴う生産・販売の再開と、販売促進策の奏功
- ◆ドレッシング +14.4 ◇「くせになるうま塩」、「セレクトィあめ色玉ねぎ」の高評価
◇主力レギュラー品の積極的な販売プロモーションの奏功

業務用食品

【前期差+6 / 前期比107.4%】

- ◆海藻 +4.2 ◇震災からの「復旧・復興計画」の進捗に伴う生産・販売の再開と、販売促進策の奏功
- ◆食品改良剤 +1.7 ◇コンビニ向け等の食品改良剤の伸長

加工食品用原料等

【前期差+1 / 前期比101.9%】

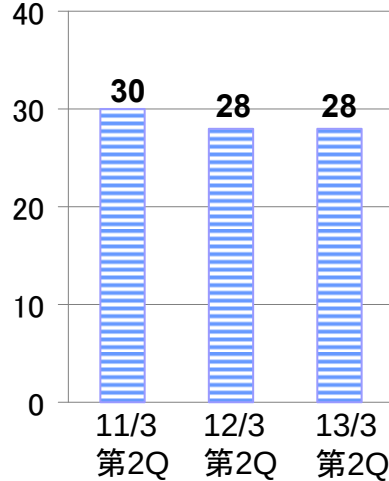
- ◆食品改良剤 +2.4 ◇パン用改良剤や色素等が堅調に推移
- ◆ビタミン +1.0 ◇医薬用・食品用ビタミンの伸長
- ◆子会社販売分 △1.3 ◇子会社の扱うビタミンCや梅関連製品の売上低調

セグメント別売上高 主な増減要因②

国内化成品その他事業【前年差△0 / 前年比100.0%】

単位: 億円

(億円)



◆化成品

..... +0.2

◇農業用フィルムや、エコカー補助金効果による自動車部品向け改良剤の好調

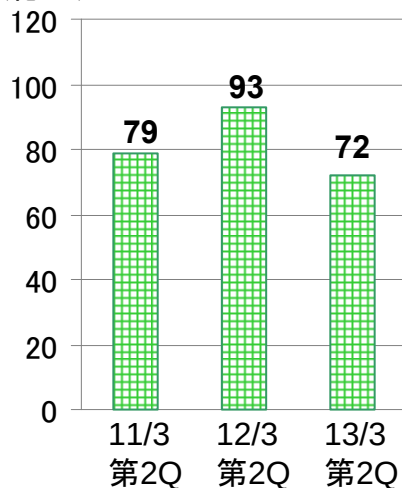
◆その他

..... △0.2

◇飼料用油脂の売上低調

海外事業【前年差△20 / 前年比77.8%】

(億円)



◆海外販社5社

..... △1.9

(△1.9)

◇円高の長期化や、中国をはじめとする新興国が欧州地域における金融不安のあおりを受けた結果、若干の減少

◆青島福生食品

..... △18.8

(+0.1)

◇同理由により、水産加工品の欧州向け出荷が大きく減少

()内は為替影響額

海外事業売上高の状況

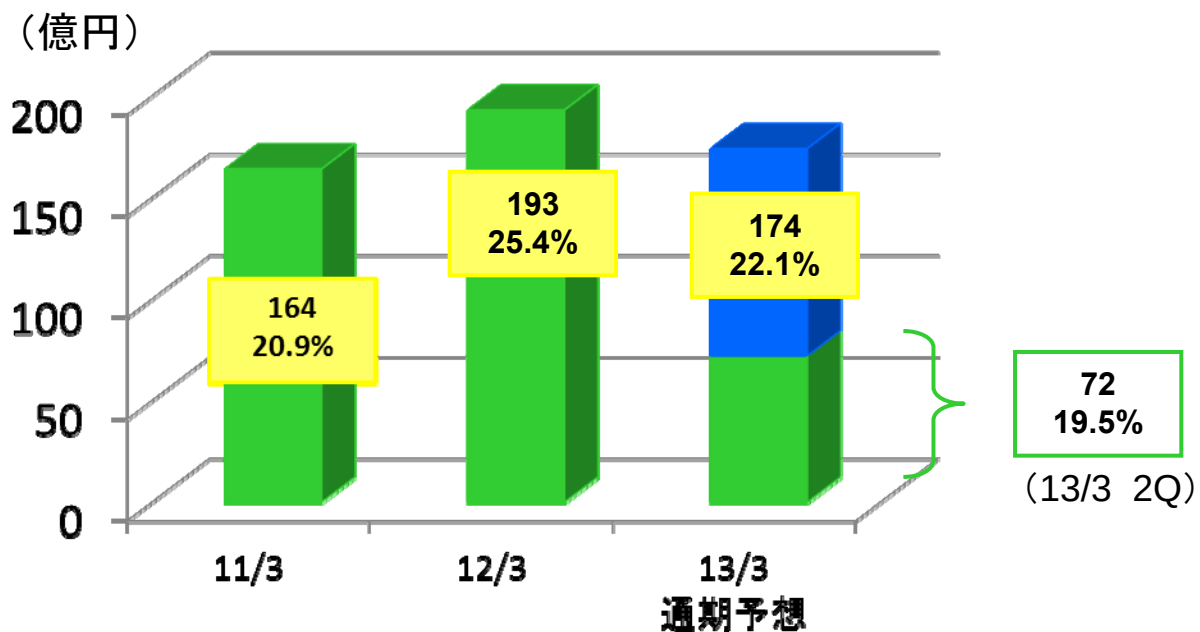
単位: 億円

	2011/3月期 通期実績	2012/3月期 通期実績
海外事業売上高	164	193
販社(改良剤)	90	98
青島福生	73	95
連結売上高に 占める割合	20.9%	25.4%

2013/3月期 第2四半期
72
47
25
19.5%

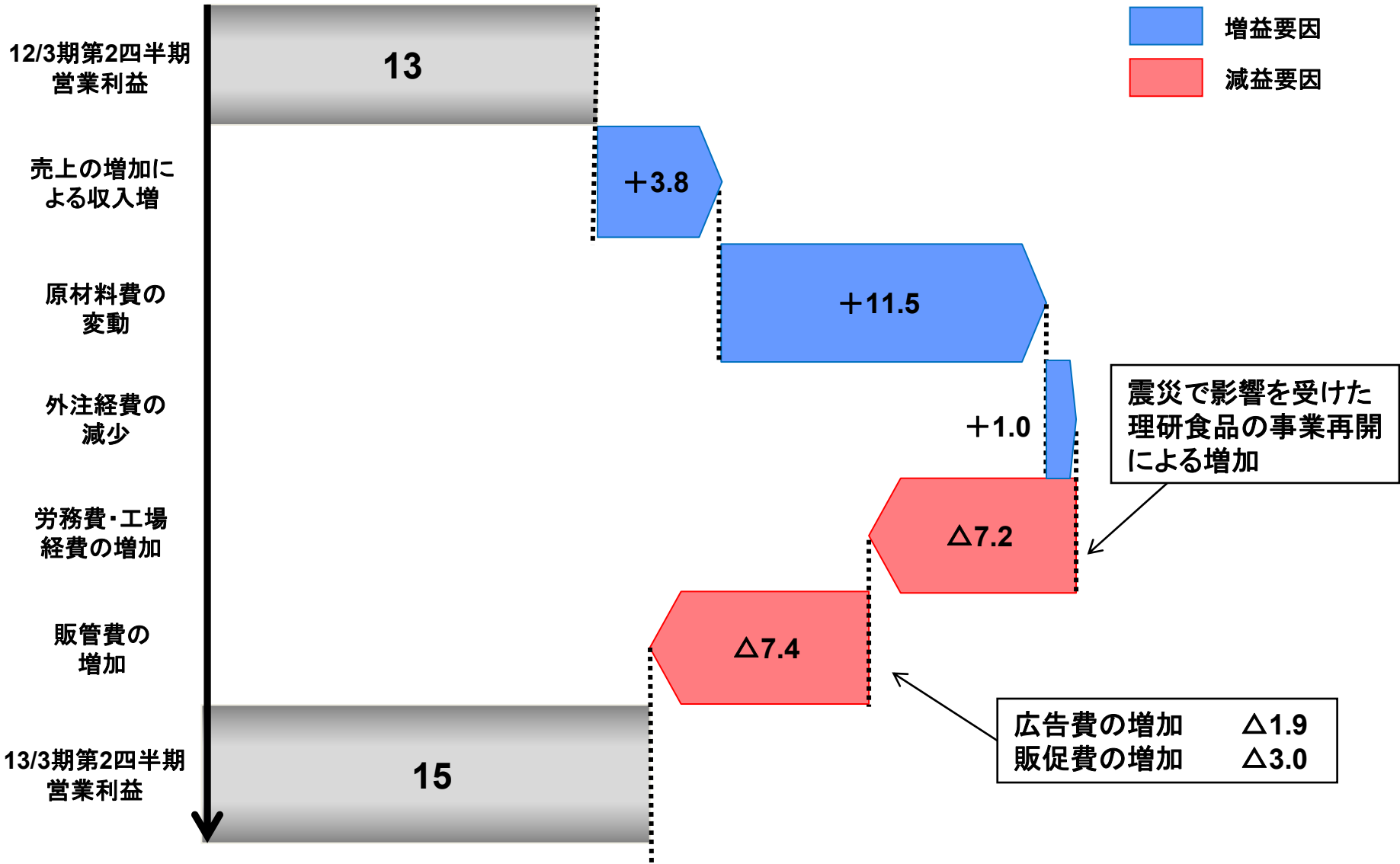


2013/3月期 通期予想
174
103
71
22.1%



営業利益の増減要因分析

単位：億円



貸借対照表の主な増減科目(連結)①

単位: 億円

資産の部			
科目	2012/3月期 期末	2013/3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	511	526	+15
現金及び預金	157	142	△14
受取手形及び売掛金	198	193	△5
たな卸資産	127	162	+34
固定資産	354	353	△0
有形固定資産	230	230	△0
無形固定資産	7	7	+0
投資その他の資産	116	115	△0
合計	865	879	+14

商品及び製品 +8.8
仕掛品 +12.2
原材料及び貯蔵品 +13.5

貸借対照表の主な増減科目（連結）②

単位：億円

負債・純資産の部			
科目	2012/3月期 期末	2013/3月期 第2四半期末	増減額
流動負債	259	266	+7
支払手形及び買掛金	99	100	+0
短期借入金	87	98	+10
固定負債	42	43	+1
負債合計	301	310	+8
株主資本	547	551	+4
その他の包括利益	12	13	+0
少数株主持分	3	4	+0
純資産合計	563	569	+5
合計	865	879	+14

利益剰余金 +4.3

その他有価証券評価差額金 +1.6
 為替換算調整勘定 △0.9

キャッシュフローの状況(連結)

単位:億円

	2012/3月期 第2四半期	2013/3月期 第2四半期
現金及び現金同等物の期首残高	168	158
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	17	6
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の期末残高	160	141

税金等調整前純利益 +14.2
減価償却費 +15.4
売上債権の減少 +4.9
たな卸資産の増加 △34.8

有形固定資産の取得 △30.2

短期借入金の増加 +13.1
長期借入金の返済 △3.2
配当金の支払 △3.9

2013/3月期 通期業績予想 および 今後の見通し

代表取締役社長 堺 美保

中期経営計画 経営基本方針



更なる
企業価値の向上



グループ経営の推進→事業基盤強化



グローバルなフィールドでの成長

企業体質の強化



独自技術の活用 と 事業の選択と集中



高付加価値製品の追求

社会の信頼に
応える企業



健全な事業運営を推進する
コンプライアンス体制・ガバナンス体制



安全な製品の提供

- 1 中核事業での国内外マーケットシェア拡大と収益力の向上を目指す
- 2 海外事業を当社グループの成長エンジンと見据え、運営(開発・生産・販売)体制の強化を図る
- 3 品質保証体制の更なる強化を図り、顧客・消費者の信頼を高める
- 4 アライアンス・パートナーとの更なる事業推進を図る
- 5 CSR経営の一層の推進を図る

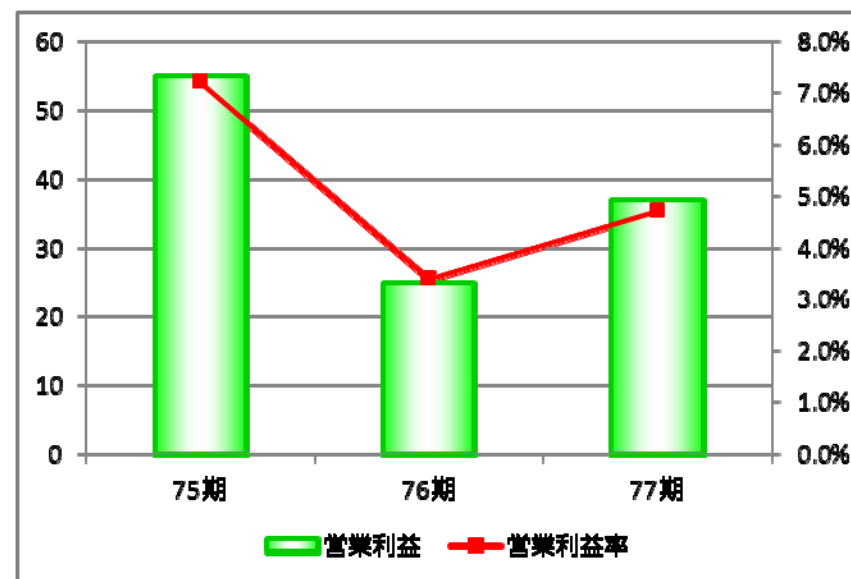
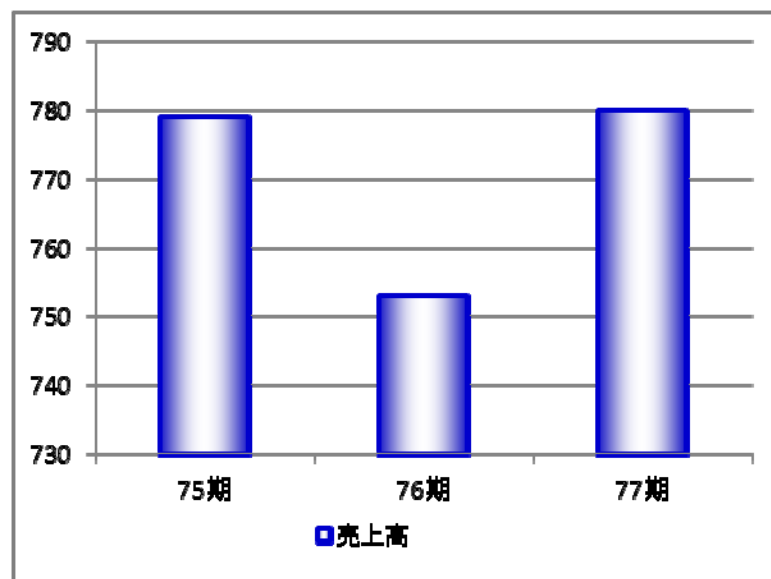
2013/3月期 通期業績予想(連結)



(単位:億円)

	75期 (2011/3)		76期 (2012/3)	
	実績	売上比	実績	売上比
売上高	779		753	
営業利益	55	7.2	25	3.4
経常利益	57	7.3	28	3.8
当期純利益	11	1.4	14	1.9

77期 (2013/3)			
予想	売上比	76期差	76期比
780		+26	103.5%
37	4.7	+11	144.1%
38	4.9	+9	134.0%
22	2.8	+7	155.4%



2013/3月期 通期セグメント別売上予想

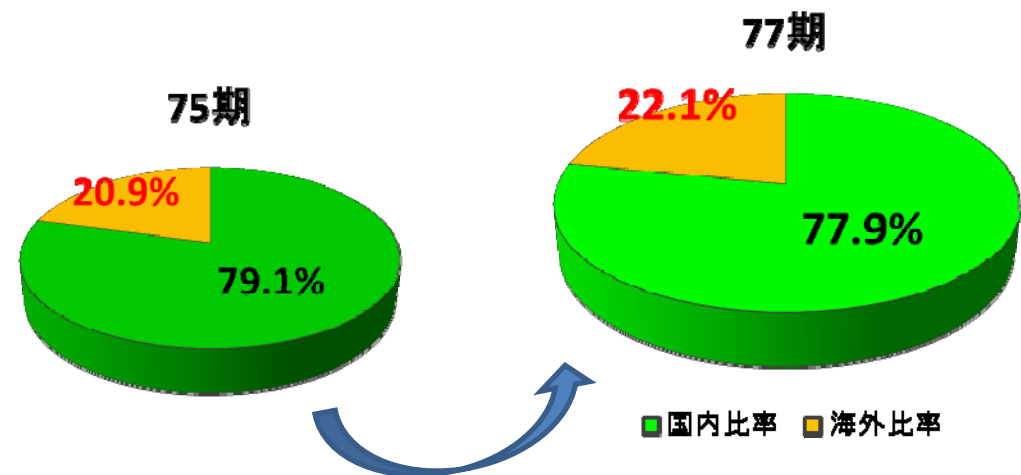
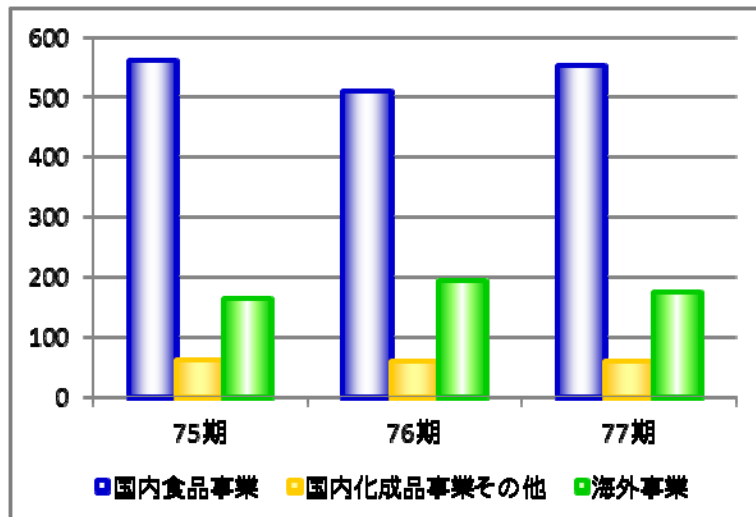


単位: 億円

	75期 (2011/3)	
	実績	構成比
国内食品事業	560	71.3
家庭用食品	148	
業務用食品	217	
加工食品用原料他	194	
国内化成品その他事業	61	7.8
海外事業	164	20.9
調整額 (セグメント間消去)	▲ 6	
合 計	779	

	76期 (2012/3)	
	実績	構成比
国内食品事業	509	66.9
家庭用食品	133	
業務用食品	187	
加工食品用原料他	188	
国内化成品その他事業	58	7.7
海外事業	193	25.4
調整額 (セグメント間消去)	▲ 7	
合 計	753	

77期 (2013/3)			
予想	構成比	76期差	76期比
553	70.3	+43	108.6%
159		+25	118.8%
202		+14	107.9%
192		+3	101.9%
60	7.5	+1	108.0%
174	22.1	▲ 19	89.9%
▲ 7			
780		+26	103.5%



2013/3月期 通期セグメント別営業利益予想

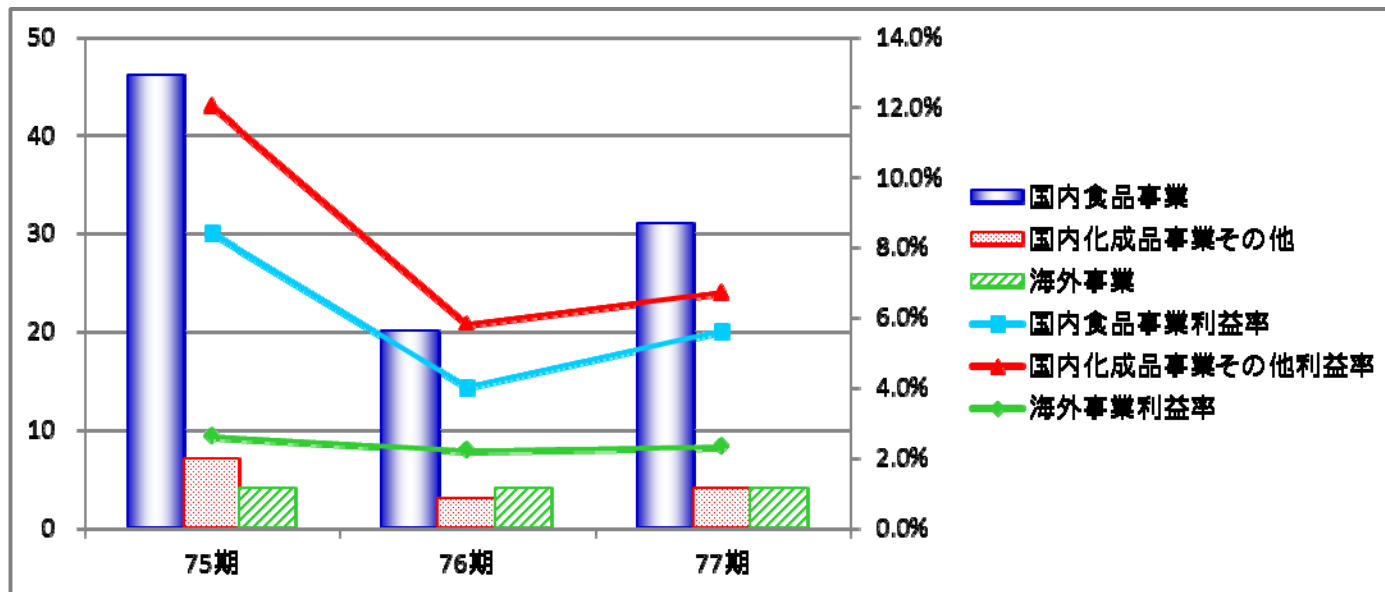


(単位:億円)

	75期 (2011/3)	
	実績	利益率
国内食品事業	46	8.4%
国内化成品事業その他	7	12.0%
海外事業	4	2.6%
調整額 (セグメント消去)	▲ 2	
合 計	55	7.2%

	76期 (2012/3)	
	実績	利益率
国内食品事業	20	4.0%
国内化成品事業その他	3	5.8%
海外事業	4	2.2%
調整額 (セグメント消去)	▲ 2	
合 計	25	3.4%

77期 (2013/3)			
予想	利益率	76期差	76期比
31	5.6%	+ 11	155.0%
4	6.7%	+ 1	133.3%
4	2.3%	+ 0	100.0%
▲ 2		+ 0	
37	4.7%	+ 12	148.0%



中期経営計画 事業戦略

共通

- ① 品質マインドを醸成する環境整備
- ② 中核事業でのローコストプロダクションの
確実な実行
- ③ グループ内のグローバルネットシステムの
強化



【77期下期】セグメント事業戦略① ー国内食品事業ー



中期経営計画 事業戦略

家庭用食品

- ① 主力商品群のシェア拡大と収益力向上
- ② 新製品上市による新市場創出の推進、
新用途開発による新規需要の掘り起こし
- ③ 海藻商品ブランド再興
- ④ 中核事業の周辺カテゴリー開拓

三陸・国内産わかめの
店頭率アップ！！



77期
通期

159億円（前期比 +25億円）

●ドレッシング

好調の“くせになる”に
「ペッパー醤油」を上市。
「うま塩」と相乗効果を図る。
TVCM実施。



●素材力

TVCMや医療機関サンプリング等による
商品認知率向上。減塩訴求。



②新製品上市

- コリコリ茎わかめさん
茎を活用した
混ぜ込みわかめ
ご飯の素。



【77期下期】セグメント事業戦略① ー国内食品事業ー



中期経営計画 事業戦略

業務用食品

- ① 主力商品群のシェア拡大と収益力向上
- ② 新製品上市による新市場創出の推進、
新用途開発による新規需要の掘り起こし
- ③ 海藻商品ブランド再興
- ④ 学校給食市場・CVS市場への
取組み再構築

東日本大震災に伴い休売となっていた
多数の国内産わかめ製品が販売再開。

→ 復旧品の案内・再導入の再度徹底



77期
通期

202億円（前期比 +14億円）

- ドレッシング・・・家庭用で好調の「くせになる
うま塩」を業務用でも発売。



- 米粉

米粉倶楽部
米粉で、食料自給率アップ！



- 韓国スープ



- 学校給食市場・・・【海藻】安全面・品質面での優位性の
訴求。

【その他】米粉シチュー・カレー、
コーンドレッシングの拡販。

- CVS市場・・・新素材・調味料等も活用した商品提案。
新規メニューへの調理海藻類・乾燥わかめの新規導入。

中期経営計画 事業戦略

加工用食品用原料他

- ① 重点業界、顧客への販売取り組み強化と新規顧客の獲得推進
- ② 新用途、新機能製品の提案営業の推進による新規需要の創出
- ③ 健康機能食品市場の継続拡大

77期
通期

192億円（前期比 +3億円）

● クロセチン・・・紫外線により誘発される肌炎症を抑制することを、ヒトを対象とした試験において確認。美肌効果。

◆健康機能食品



改良剤の用途

乳化

水分と油分を混ぜ合わせる



粘着防止

ほぐれやすくする



老化防止

時間経過によるぱさつきを抑える



【77期下期】セグメント事業戦略② ー国内化成品その他事業ー

中期経営計画 事業戦略

77期
通期

60億円（前期比 +1億円）

国内化成品その他事業

- ① 既存系製品の水平展開と、
新規用途開発による新規顧客開拓
- ② 顧客ニーズを見据えた新機能性製品の開発と、
提案営業推進による新規需要の創出

化成品の用途

防曇

表面が水滴で曇るのを防ぐ



離型

製造時、型から
取り出しやすくする



【77期下期】セグメント事業戦略③ ー海外事業ー



中期経営計画 事業戦略

食品改良剤/化成品用改良剤事業

- ① 新興国市場の更なる開拓
- ② 生産能力の拡大
- ③ 付加価値製品の売上拡大
- ④ 顧客ニーズへの対応力強化
- ⑤ 世界競争市場でのコストリダクション推進

77期
通期

174億円（前期比 Δ19億円）

● インド駐在事務所 → 販売子会社へ

● 天津理研維他食品有限公司・・・エステル工場の稼働
● RIKEVITA(MALAYSIA)SDN.BHD.・・・能力増強

● 理研維他精化食品工業(上海)有限公司
・・・アプリケーションセンターの開所

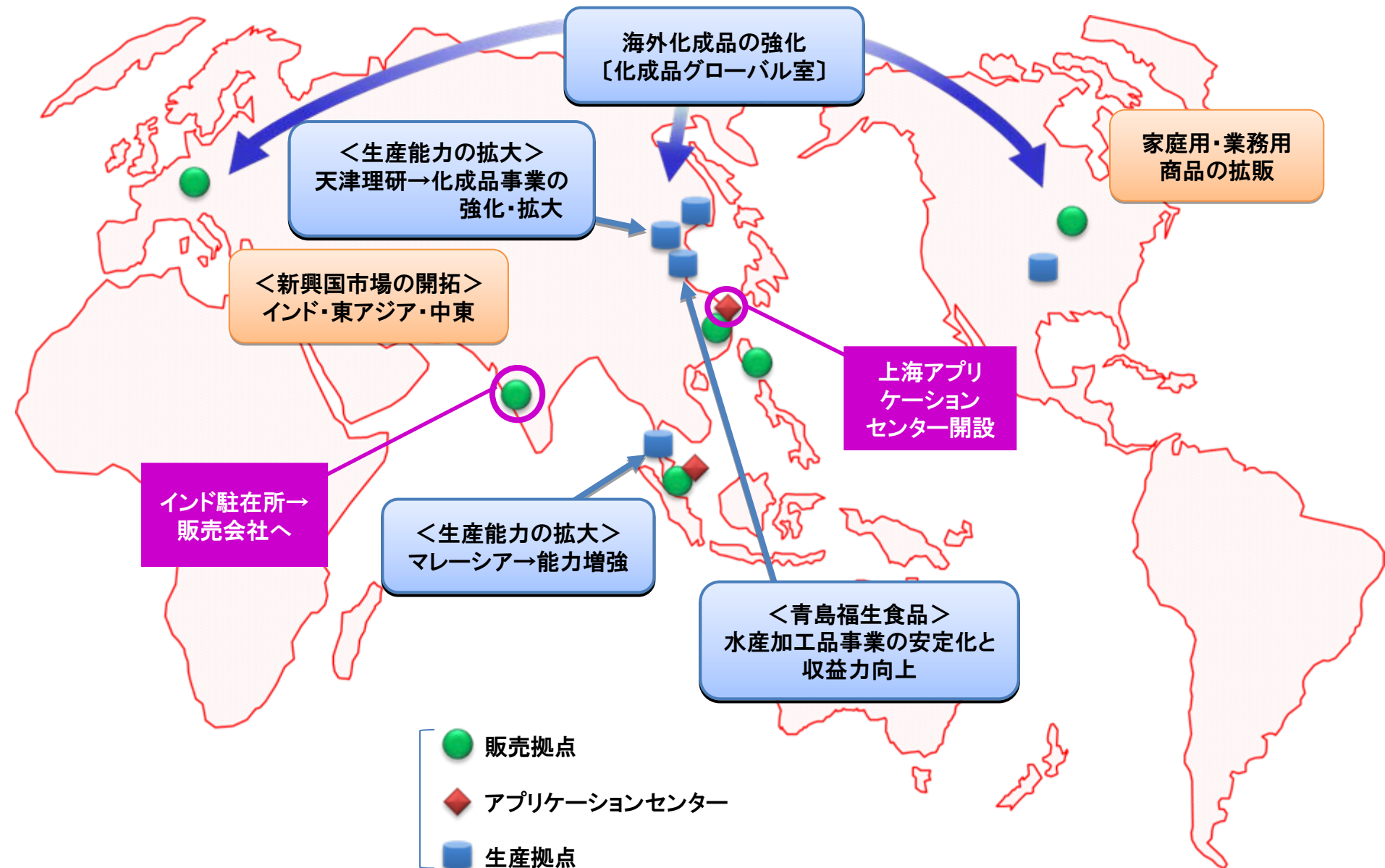
食品事業(青島福生食品)

- ① 水産加工品事業の安定化と
周辺分野への取り組みによる収益力向上
- ② 事業構造の改革推進、
新規事業開拓の推進

欧州地域の厳しい情勢の影響を大きく受け、
当初目標に届いていない

● コラーゲン事業の推進

中期経営計画 ／ 事業戦略 — 海外事業 —



中期経営計画 ／ 年度別目標

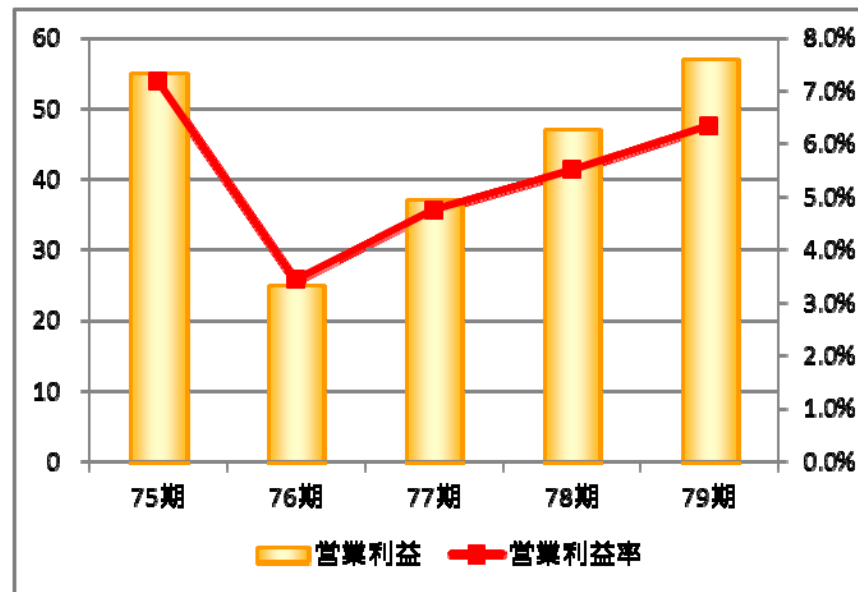
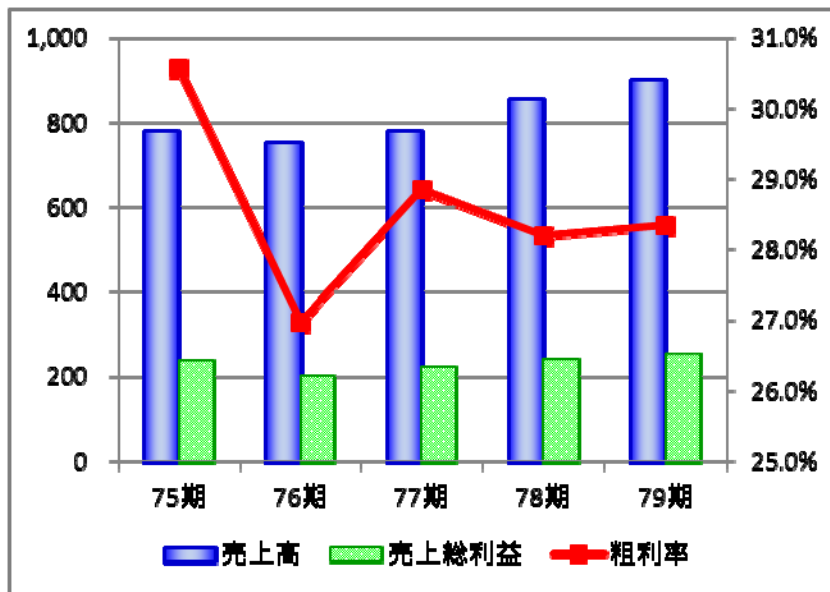


(単位:億円)

	75期 (2011/3)		76期 (2012/3)	
	実績	売上比	実績	売上比
売上高	779		753	
売上総利益	238	30.6%	203	27.0%
営業利益	55	7.2%	25	3.4%
経常利益	57	7.3%	28	3.8%
当期純利益	11	1.4%	14	1.9%



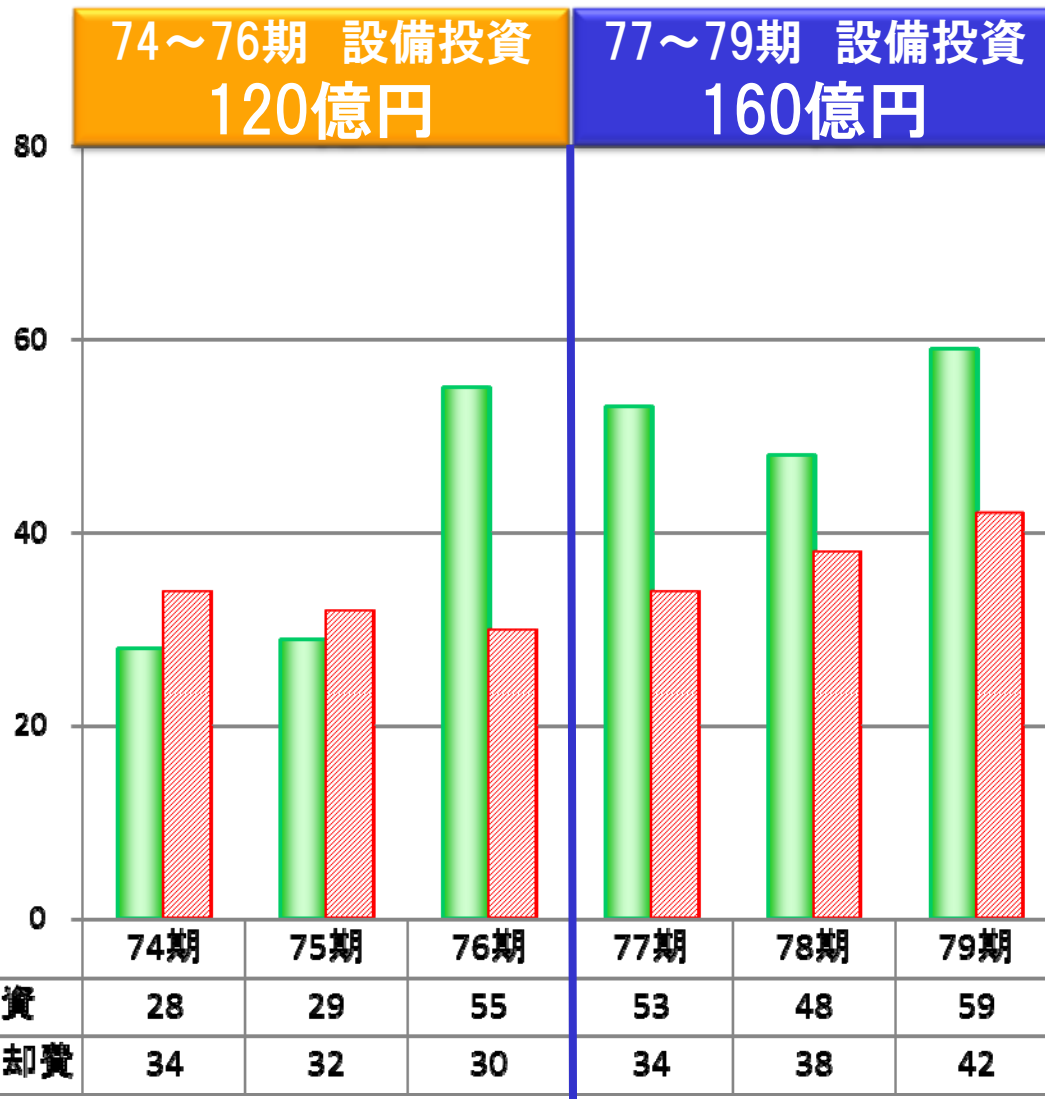
中期経営計画				
77期 (2013/3)		79期 (2015/3)		
予想	売上比	計画	売上比	76期差 76期比
780		900		+ 146 119.4%
225	28.8%	255	28.3%	+ 51 125.0%
37	4.7%	57	6.3%	+ 31 222.0%
38	4.9%	58	6.4%	+ 29 204.5%
22	2.8%	35	3.9%	+ 20 247.3%



設備投資計画 および 減価償却費



(単位: 億円)



主な設備投資 (会社別)

理研ビタミン	100億
リケビタ・マレーシア	35億
理研食品	15億
青島福生食品	7億

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



お問い合わせ先
経営企画部
毛塚・相原
TEL: 03-5275-5835